

メディアを活用した歴史まちづくり観光 (宇治市をフィールドに)

1 目的・概要

本プロジェクトの目的

私達「メディアを活用した歴史まちづくり観光（宇治市をフィールドに）」ではメディアを活用してまちづくりに寄与することを目的としています。そこで、今年度は宇治茶の魅力を映像で伝えることを目標としました。京都府では宇治茶を世界文化遺産に登録しようという試みを平成23年度から続けていますが、宇治茶の魅力が十分に伝わっていないという課題があります。そこで私たち大学生が新たなまなざしで宇治茶の魅力を再発見し、映像で伝えることにしました。

プロジェクトの概要

私達のプロジェクトでは大きく分けて2つの事を行いました。1つ目が動画作成。2つ目が上映会の実施です。動画の作成は1-4人の3班に分かれて行いました。

スケジュールからいうと春学期は撮影に向けた準備。夏休みから11月にかけて撮影を行い、撮影が終了次第編集。12月の頭と半ばに上映会を開催しました。

ここからはもう少し具体的に何をしてきたのか述べていきます。まず春学期に行った準備。こちらは宇治やお茶に関する事のインプットと撮影技法の勉強を行いました。宇治に関する勉強の一環として宇治にフィールドワークへ行き、お茶を飲んだり、座禅をしたりしました。撮影技法の勉強では同志社大学の紹介映像を作成しました。



撮影では3班に分かれてそれぞれ映像の台本から作成しました。その後、自分たちでアポを取り、プロのカメラマンの方などの助けを受けながら動画を撮影しに行きます。

編集ではメンバーの多くがラーニング commons のマルチメディアラウンジに籠って作業をしていました。ここでもプロのアドバイスを受けながらカットやトランジションなどの編集作業を進めていきます。

上映会の準備は秋学期のスタートと同時に始めました。会場の予約や上映会のコンテンツ決め、広報活動などを行いました。

Annual Schedule

2019年	4月	宇治や宇治茶に関するインプット（講義メイン）
	5月	宇治へのフィールドワーク
	6月	撮影技法の学習（同志社紹介映像の作成）
	7月	春学期成果報告会に向けたポスター作成
	8月	撮影、構成台本作成
	9月	撮影、構成台本作成
	10月	撮影、上映会準備
	11月	撮影、編集、上映会準備
	12月	上映会
2020年	1月	秋学期成果報告会に向けてのポスター作成&振り返り

2 成果達成度

12/3 に行われた京都市内での上映会と 12/22 に宇治市で行われたアンケートの結果から成果の達成度を測る。

12/3 上映会@ムモクテキカフェ

上映会の目的は宇治の事を知らない人に宇治と宇治茶の魅力を知ってもらう事であった。

回答していただいたのは 17 名

質問項目ごとの結果

Q. 映像をご覧になり宇治の魅力は伝わりましたか？

良く伝わった 12 人 / 少し伝わった 5 人 /
あまり伝わらなかった / 伝わらなかった

Q. 映像をご覧になり宇治茶の魅力は伝わりましたか？

良く伝わった 13 人 / 少し伝わった 4 人 /
あまり伝わらなかった / 伝わらなかった

Q. 今の宇治に行きたい度はどのくらいですか？

とても行きたい 12 人 / 少し行きたい 5 人 /
あまり行きたくない / 行きたくない

→上記の結果の様に向きまな回答がそろっていたため見ていただいた方には宇治や宇治茶の魅力が伝わったといえる。

Q. 宇治や宇治茶に関して新たに知ったことはありましたか？内容もお聞かせください。

宇治の自然豊かさ（カナダ在住 30 代女性）
茶匠がいて 1 年を通して味を安定させている事。（京都市内在住 50 代女性）
お茶を作る際の乾燥炉を初めて見たのでさらに詳しく知りたくなりました。（大阪府在住 20 代男性）

12/22 上映会@宇治アンケート結果

上映会には 28 人の地元の方に来ていただき、国会議員の方や市役所の方も来られていた。

宇治市内での上映会の目的はすでに宇治に住んでいる方に新たな側面から宇治の魅力を知っていた、地域への誇りを促進する事であった。

アンケートの中からコメントを一部抜粋していく

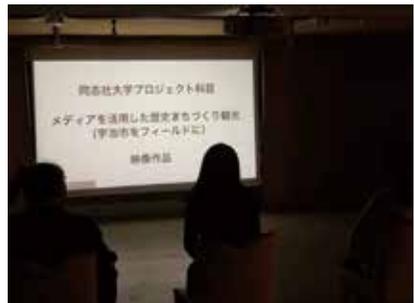
Q. 映像を見て新たに知ったことはありましたか？

- ・ ゆっくりと宇治の魅力、流れを見ることで宇治の空気を新鮮に感じることができた。
- ・ 座禅の魅力、自分の知らない場所が随所に出てきた。
- ・ 宇治とウサギの関係
- ・ 普段歩いているところなのに一歩中に入っていなかったこと
- ・ 映像として切り取られた風景の美しさ

→このように私たちの映像を通じて宇治に住んでる方々でさえ新たな発見をしていただけた。これにより、さらに宇治への愛着がわいたのではないだろうか。

Q. 宇治茶について新しく知ったことはありますか？

本簾、寒冷紗、合組などの栽培やブレンドでの工夫。
堀井式乾燥機が特許を取らずに技術を広めた事。



製法など、1 作品目の山本さんのお茶を頂いてみたいと感じました。
お茶の入れ方、抹茶の入れ方
お客様への意識を大事にしている点
山甚さんが昔ながらの方法で栽培をしていた事
→宇治市民の方でも知らなかった宇治茶の魅力や知識を伝えることができたと考えています。
このアンケートの結果から宇治茶の魅力を伝えるという目標は達成できたと思う。



3 プロジェクトを通じて

今回のプロジェクトを通じて、このプロジェクトを始めなければ知ることができなかった事をたくさん学ぶことができた。

宇治やお茶についての知識。例えば、一言で緑茶と言っても抹茶や玉露など様々な種類があること。お茶の職人さん達の味を守るための努力や工夫。宇治にはジャータカ神話との関連があると思われる伝承が残っている事。



また、映像に関する知識や経験を得ることもできた。プロットと構成台本の違い。人の心を動かすためにはどのような要素が必要になってくるのか。画角による表現の違いや物語をスムーズに進めるためのカット割り。インタビュー映像の使う部分と切る部分の取捨選択。

そして、私は人生で初めてリーダーを経験し、組織を運営する経験も得ることができた。これを通じて責任者と期限の重要性。人に頼る事の難しさ。企画書の面倒くささ（笑）。

大変なこともあったが私はこのプロジェクトを通じて多くの事を学ぶことができ、本当に受けて良かったと感じている。



編集後記

活動の概要を書いているときに改めて自分たちがしてきた事を振り返った。初めの役割決めでリーダーに手を上げた自分よりも成長できていたら嬉しいなと思いながら報告書を書いていました。成果報告の部分のまとめ方が今の形で大丈夫なのかが不安です。あと、「プロジェクトを通じて」という質問が抽象的過ぎて何を書けばいいかわからなかったのももう少し具体的に聞いていただけると来年から書く人が書きやすいかもしれないと感じました。

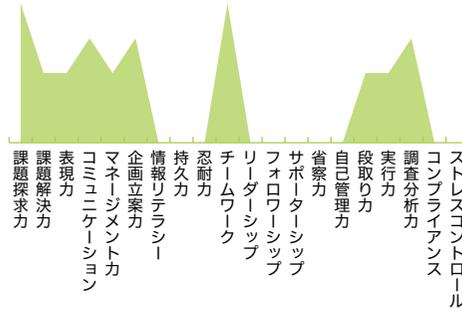
プロジェクトメンバー

石川 貴大(社会4) 宮本 あすか(社会2) 柏木 健作(法2) 沼田 俊(法2) 春名 歌歩(経済3)
新谷 菜摘(経済3) 永松 野々花(政策2) 國澤 優一(グローバル地域文化3)

プロジェクト活動 アンケート集計結果

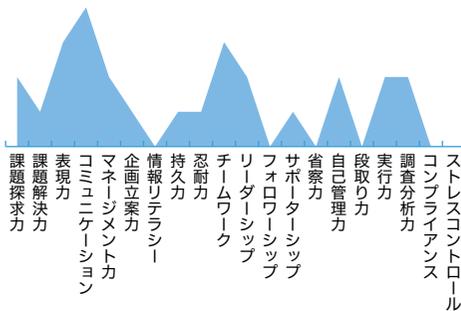
授業開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

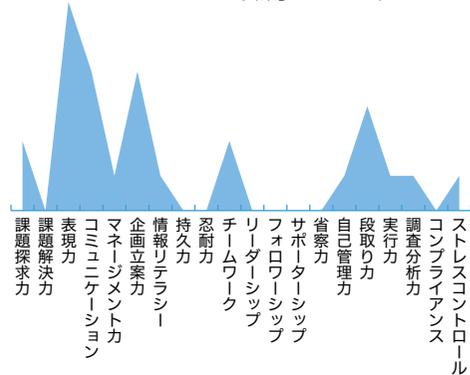


春学期終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

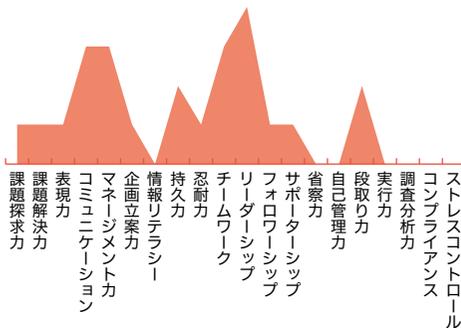


Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい



授業終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

